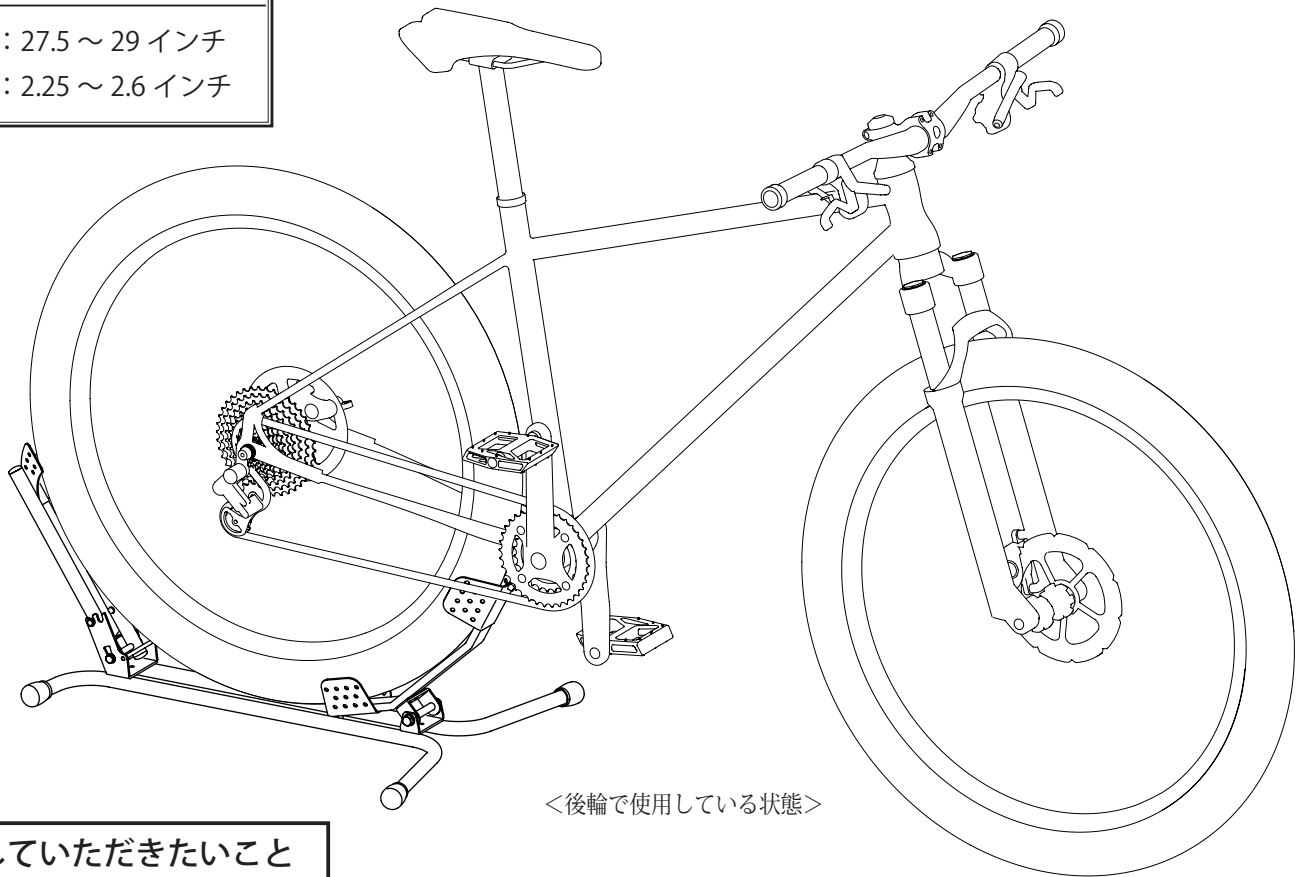


対応タイヤサイズ

径：27.5～29 インチ

幅：2.25～2.6 インチ



<後輪で使用している状態>

注意していただきたいこと

- MTBをはじめとする幅広ノビータイヤ専用のスタンドです。ロードバイクやクロスバイク、BMX や小径車などではタイヤサイズが合わないためお使いいただけません。
- 適合するタイヤサイズは27.5 x 2.25 インチから29 x 2.6 インチまでの間に限られます。同じMTBでも26インチには合いませんのでご注意ください。
- 前輪または後輪をタイヤ受けで保持して車体を支えます。安定した使用のためできるだけ後輪でお使いいただくことをお勧めします。もし前輪でお使いになる場合はハンドルは切らず車体と前輪とがまっすぐになった状態にしてください。ハンドルが切れていると傾いて転倒するおそれがあります。
- 後ろのタイヤ受けアームは、27.5インチ用のポジションと29インチ用のポジションの2つが選べるようになっています。使用するホイールに合わせて正しい方でセットしてください。
- タイヤが前中後の計3つのタイヤ受けすべてで受けられていることを確認してください。どこか1か所でも外れていると、正しく支えることができず転倒するおそれがあります。
- 本商品で支えている自転車には絶対に乗ったりしないでください。体重を支えきれず転倒して怪我をします。
- 泥汚れなどが付着した場合はできるだけすみやかに除去してください。水濡れは厳禁です。サビ防止のため濡れたらすぐに拭き取って乾かしてください。
- 折りたたみ式になっている部分で指などを挟まないよう注意してください。怪我をします。
- 水平で平坦な場所に設置して使用してください。屋外で使用する場合、傾斜地での使用は安定性が保証できませんので、おやめください。

製品保証期間：1年間

本商品の保証期間は、お買い上げ日から起算して1年間です。メーカー側に瑕疵のある製造上の不具合に対してのみ、無償修理あるいは交換を行ないます。商品以外のものは保証の対象外です。お買い上げ日の証明となる納品書類は必ず残しておいてください。

保証内容の詳細については、商品に添付の「製品保証規定」カードをお読みください。

本商品のご使用はお客さま本人の責任において行なっていただきます。本商品を使用したことによるいかなる不具合についても、弊社はその責を負いません。

本商品は品質向上のため予告なしに仕様を変更することがあります。最新の情報については弊社ウェブサイト（www.minoura.jp）を適宜ご参照ください。

問い合わせ先

もし何か分からないことがあった場合は、まずお買い求めになった**販売店**にお問い合わせください。もしそこで十分な情報やサービスを受けられない場合に限り、下記までお問い合わせください。

株式会社 箕浦（製造元）

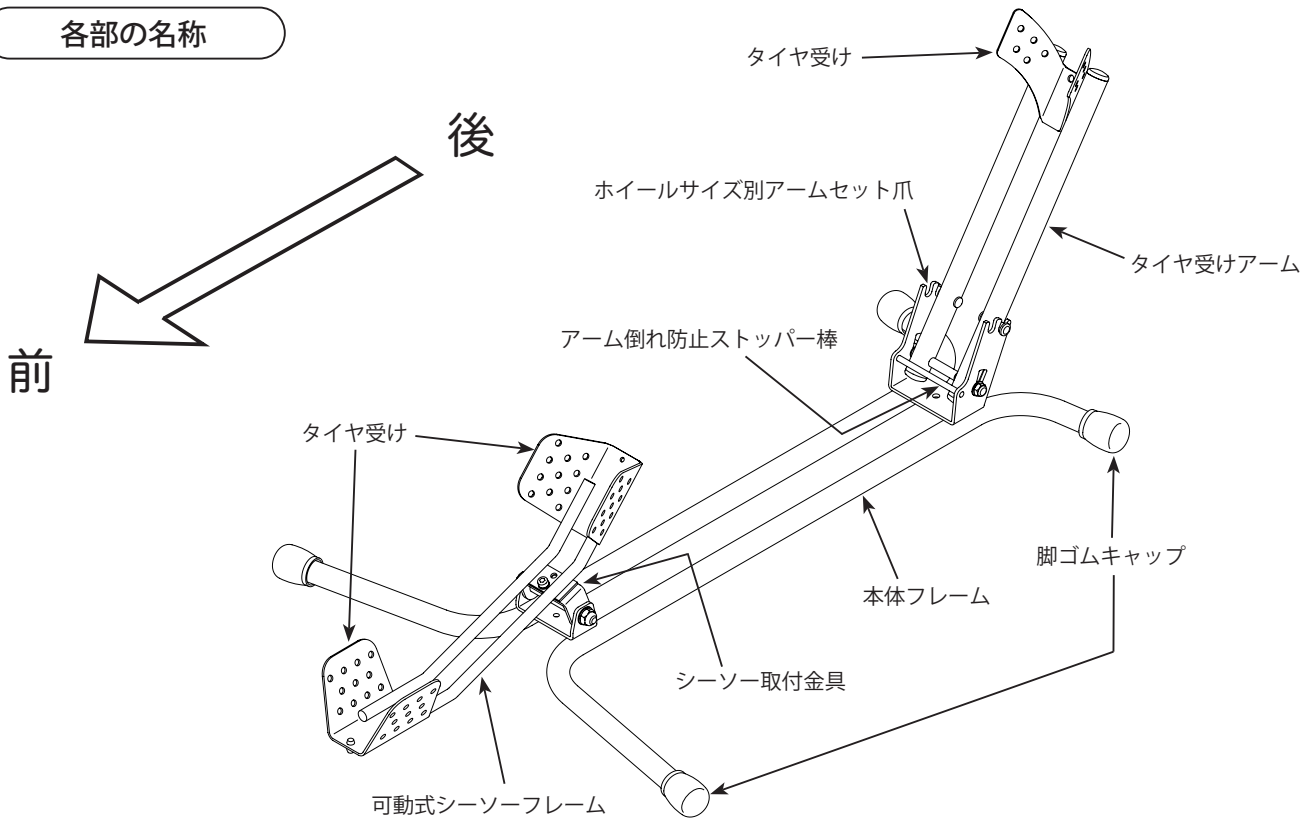
〒503-2312 岐阜県安八郡神戸町下宮 134-1

Phone: (0584) 27-3131 Fax: (0584) 27-7505

Mail: minoura@minoura.jp [営業] / infodesk@minoura.jp [カスタマーサービス]URL: www.minoura.jp

日本製

各部の名称

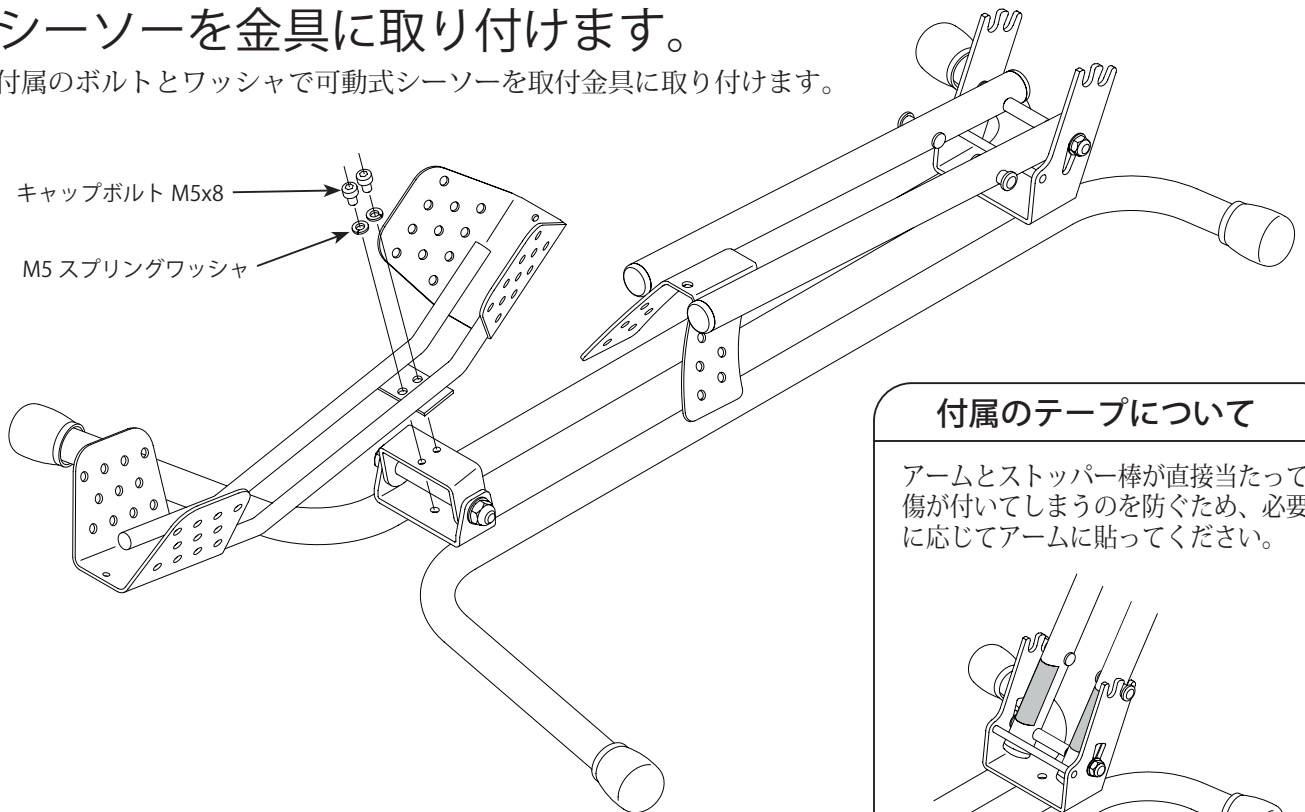


CWS-1000 の組み立て方

必要な工具：4mm 六角レンチ（付属）

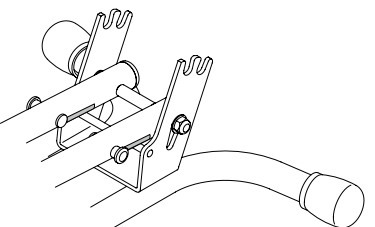
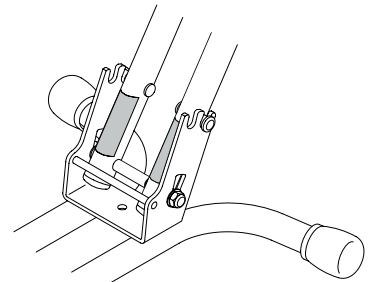
1 シーソーを金具に取り付けます。

付属のボルトとワッシャで可動式シーソーを取付金具に取り付けます。



付属のテープについて

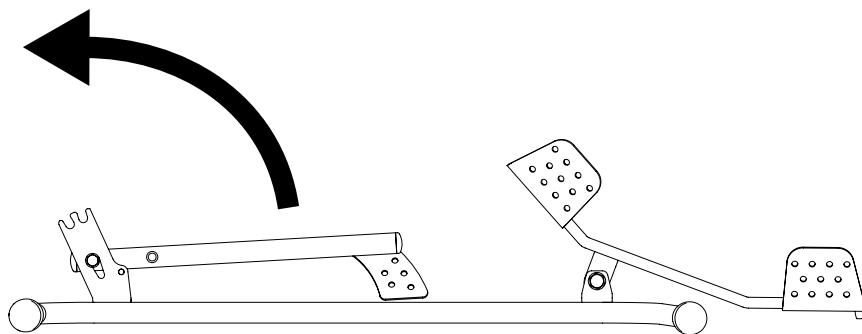
アームとストッパー棒が直接当たって傷が付いてしまうのを防ぐため、必要に応じてアームに貼ってください。



シーソーフレームの向きに気をつけてください。
長い方が前側になります。
自然にシーソーの前端が床面に着きます。

CWS-1000 への自転車の載せ方

1 タイヤ受けアームを起こします。



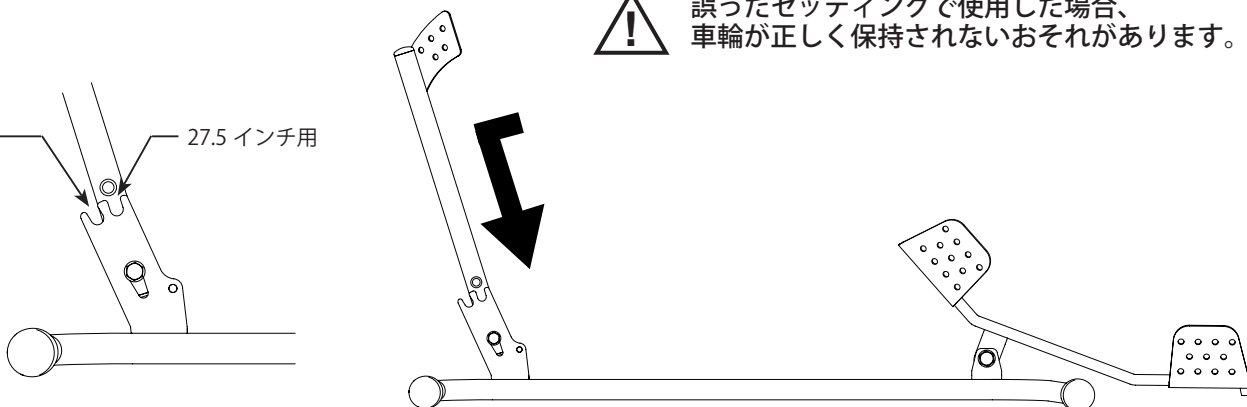
2 アームのピンを爪に差し込みます。

お使いになる自転車のホイールサイズに合わせて、27.5 インチ用の場所と 29 インチ用の場所を使い分けて正しい方に奥にいっぱいまで差し込みます。

! 誤ったセッティングで使用した場合、車輪が正しく保持されないおそれがあります。

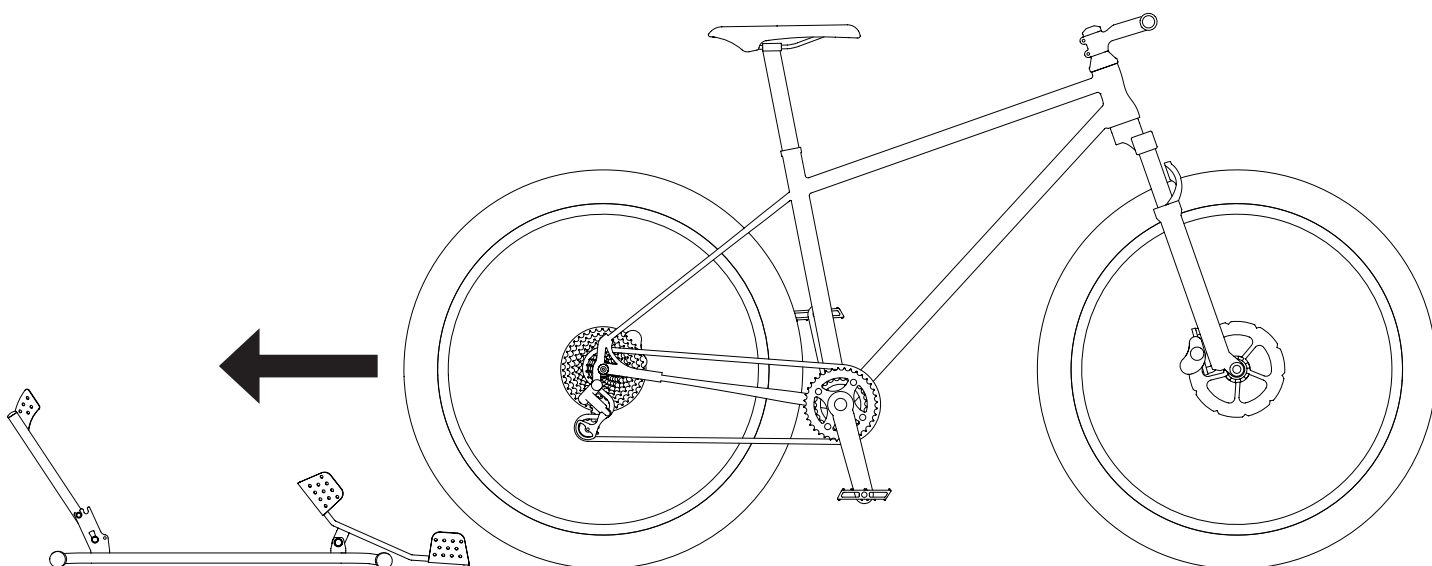
29 インチ用

27.5 インチ用



3 車輪をシーソーに乗せ、アーム先端のタイヤ受けとの3か所でしっかりと支えます。

後輪で使う場合は、自転車を後退させながら後輪をシーソーに乗り上げさせ、そのままさらに後退させて最終的にアーム側のタイヤ受けに当たるまで動かします。



自転車から手を離す前に、車輪がしっかりと保持されていることを、少し車体を揺すってみて確認してください。

日常の点検事項

- 真上から見て、アームを畳んだとき、本体フレームと平行であるかどうか。
- 真上から見て、シーソーが本体フレームと平行であるかどうか。
- ゴム脚キャップが外れてしまっていないかどうか。
- アームやシーソーに過度ながたつきがあったり、逆に動きが渋すぎないかどうか。
- シーソーの取付ボルトが緩んでしまっていないかどうか。

